

日本留学考试对策

读解

日本留学考试试题研究会 编

ちょうせん 挑戦

Challenge チャレンジ



上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本留学考试对策. 读解 / 日本留学考试试题研究会编.

—上海:上海外语教育出版社, 2004

ISBN 7-81095-099-1

I. 日… II. 日… III. 日语—高等学校—入学考试—日本—自学参考资料

IV. H360.41

中国版本图书馆CIP数据核字(2003)第122629号

图字: 09-2003-451号

出版发行: 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机), 35051812 (发行部)

电子邮箱: bookinfo@slep.com.cn

网 址: <http://www.slep.com.cn> <http://www.slep.com>

责任编辑: 赵丽君

印 刷: 上海长阳印刷厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 787×1092 1/16 印张 11.25 字数 236 千字

版 次: 2004 年 5 月 第 1 版 2004 年 5 月 第 1 次印刷

印 数: 10 000 册

书 号: ISBN 7-81095-099-1 / G · 053

定 价: 17.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

日本留学考试对策

读解

日本留学考试试题研究会 编

ちょうせん 挑戦

江苏工业学院图书馆
藏书章

Challenge チャレンジ

W 上海外语教育出版社
外教社

出版说明

2002年6月16日,第一次“日本留学考试”在日本的15座城市(15个考场)和海外8个国家的10座城市(10个考场)同时进行。本考试的对象是准备自费报考日本大学的外国人。

今后,“日本留学考试”将分别于每年的6月和11月举行,以此取代过去由日本国际教育协会主管的“自费外国留学生统一考试”。此前,报考日本高等学校(包括大学、短期大学、职业学校等)的考生,必须同时通过“自费外国留学生统一考试”和“一级日语能力考试”。而从2002年度开始,考生只须通过“日本留学考试”即可。

日本留学考试是一项考查应试者的日语水平及基本学习能力的考试。考试分为文科与理科两组,文科考试科目有“日语”、“数学1”、“综合科目(公民·地理·历史)”。理科考试则为四科,分别是“日语”、“数学2”、“理科(物理、化学、生物中选考两科)”。参加“日本留学考试”所取得的成绩两年有效。

为了方便我国广大的日语学习者和拟赴日留学者了解“日本留学考试”的有关考试科目、内容及形式,本社引进出版了《日本留学考试对策》丛书,以供大家参考。

《日本留学考试对策》丛书由《综合科目》、《听读解》、《读解》、《数学1》、《物理》五本书组成。

本书为《读解》,收录的文章,语言地道,体裁多样,内容丰富。全书由“基础篇”、“习题篇”、“挑战篇”三个部分组成。前面两部分旨在通过基础训练和技能操练,帮助考生提高读解应试能力;“挑战篇”分为两个部分,各由20道模拟题组成,供自测和训练时使用。

我们衷心希望《日本留学考试对策》丛书能够满足我国广大的日语学习者和拟赴日留学者的需要。

上海外语教育出版社

2003年12月

はじめに

このテキストは、アカデミックな場における生活や学習、研究に必要な日本語の読解力を身につけたいと願っている日本語学習者のために作成されました。特に、ある程度の長さの文章を読んで、速く正確にその内容をつかむ読解能力をトレーニングするための教材です。

通知文や冊子から必要な情報を読み取ったり、資料を探したり、またそれを読んだり、アカデミックな場では読みの作業が大変多いのですが、読解力は一朝一夕に身につくものではありません。どうしたら読みの力が伸びるのか、学習者も現場の先生方も日々模索しているというのが現状だと思います。日頃の練習のお手伝い如果能できれば、という思いで本書の作成を計画しました。

読み方には大きく分けて、必要な情報だけを拾い出す読み方（スキニング）、文章をすばやく斜め読みして、全体の内容を把握する読み方（スキミング）、そして、少し丁寧に、筆者の論理の展開を追いかける読み方とがあるように思います。どの読み方もアカデミックな場面では必要なことでしょう。

本書は日本留学試験の日本語「読解問題」に対応するものです。本書で学習した読解のスキルが実際の試験に少しでも役立つよう祈っております。

演習問題を整備する段階で、試行テストを実施しました。快く全クラスで試行テストを行い貴重なデータをまとめてくださった東京国際大学付属日本語学校の諸先生方に心よりお礼申し上げます。

日本語学習者のための教材であることをご理解くださり、快く転載を許可してくださった大勢の著者や出版社の方々に、改めて深く感謝いたしております。また、問題文の材料集めにご協力くださった拓殖大学の田中ソノ先生にも厚くお礼申し上げます。

本書の完成に向けて奮闘してくださった編集部の佐藤純子さん、ほんとうにありがとうございました。

まだ、不備な点、至らぬ点も多いかと思いますが、お使いになった方々からご意見がいただければ幸いです。

2003 年 2 月

友松悦子
宮本 淳
和栗雅子

本書をお使いになる方へ

本書はある情報を伝える文書や、ある程度の長さの文章を一気に読んでその内容をつかむ練習を目的としています。学習の形と時間数に合わせて、いろいろな使い方が考えられますが、基本的には次のような流れを考えて編集しました。

I 基本編

読解問題をやってみる前の段階の練習です。一つの単元は大体 45 分～50 分で終わるようにと考えて作成しましたが、中級の学習がまだ十分でない学習者は、もちろんそれ以上の時間をかけて、丁寧にやってもいいと思います。

II 問題編

各課を 2 コマ (45～50 分授業を 2 回) で終わることを一応の目安として作成してありますが、学習者のレベルによってはもっと時間をかけて、一つ一つ丁寧に学習していてもいいでしょう。

ここからいよいよ読解という作業に入ります。まず、各課のはじめに簡単な解説部分がありますから、それを注意して読んでください。その後で例を読んで、その課で学習するスキルの理解に役立ててください。

例に示されたような考え方で、まず基本練習をやってみます。答えを自分で書きこんで、正しくできたかどうか答え合わせをして確かめましょう。まちがえてしまった場合は、どうしてまちがえたのか考えてみるのが大切です。

次に演習問題に進みます。その課で学んだスキルを使えば正解を見つけることができるように作られた問題が、10 問並んでいます。10 問をある一定の時間内に解けるように練習してみましょう。知らない言葉が出てきても辞書を引いたりしないで、文章全体の内容をつかむことに心を集中させるのが大切です。限られた時間内にすばやく要点を読み取ることは、日常生活でもアカデミックな場面でも、ぜひ必要な能力です。

III, IV チャレンジ問題

問題編にあげたさまざまなスキルを組み合わせ応用して解く問題です。ここでも知らない言葉が出てきたときは、前後の関係やわかっていることから意味を推測する練習を心がけてください。問題編のときよりもさらに時間制限を厳しくして、1 回分 20 問をある程度のスピードで、一気に読み進むようにしましょう。20 問やったら答え合わせをしてください。今度はゆっくりと丁寧に読んで、どうしてまちがえたのかチェックしてください。そうすることは、自分の読み方のくせを見直すいいチャンスになるでしょう。

演習問題とチャレンジ問題は、日本留学試験に合わせて選択式になっています。試験を受けるときのような緊張感でやってみてください。

本書の構成

本書は大きく3部に分かれています。

I 基本編

実際にいろいろなタイプの文章を読む前に、「読む」という作業に必要な基本的なスキルを知っておくことが大切です。ここでは「1. 言葉のまとまり」、「2. 文のつながり」、「3. 言葉の省略」という3つの柱を立てて練習します。

「1. 言葉のまとまり」では、長い修飾節のついた名詞を見つけてその修飾節を切り離し、単純な骨組みの文にして読んでみる練習をします。「2. 文のつながり」では、文なく言葉（主として接続詞）を学習して、文と文がどういう関係でつながっているのか（逆接か、理由を述べているのか、対比かなど）を読み取る練習をします。文章の論理性は接続詞によって明らかになることが多いので、この課の学習は論理的な文を書くためにも役に立つでしょう。「3. 言葉の省略」では、日本語では、筆者と読者の間で、もうわかっている言葉（特に主語）は省略されることが多いという特性を体得して、省略された主語を考えながら読むことを学習します。それぞれに基本練習があります。

II 問題編

読解のためのスキル（6項目）を学び、練習します。各課はまず簡単に解説があります。どういうことに注意して文を読めばいいかを、短い言葉で説明してあります。例を見ながら、そのスキルを学習してください。その後にそのスキルを実際に試してみる基本練習、そして演習問題が続きます。演習問題は「日本留学試験」と同じ形式の4択式ですが、そのスキルを使えば正解が見つかるように工夫して作った問題です。

III, IV チャレンジ問題

4択式の問題が20問ずつ2回分あります。問題形式は多岐にわたります。IIの問題編で身につけたスキルの応用編と言えるでしょう。

目次

はじめに

本書をお使いになる方へ

本書の構成

I 基本編

1. 言葉のまとまり
2. 文のつながり
3. 言葉の省略

II 問題編

1. 情報を拾う
2. 5W1Hをすばやくみつける
3. 整理して読む
4. キーワードを探す
5. 中心文と補助文とを見分ける
6. 文章の流れを考える

III チャレンジ問題 第1回

IV チャレンジ問題 第2回

問題文出典一覧

参考文献・資料

I 基本編

1. 言葉のまとめ

複文を使った複雑な構造の文章では、主語と述語が単純な位置関係になかったり、文中の名詞や形容詞や動詞に修飾する語句がついていたりします。そのような文章を読むときは、前からただ順番に読み進むのではなく、文をいくつかのまとまりに分けて読むようにします。ここでは、a. 言葉のまとめを探す b. 修飾語と被修飾語（修飾される言葉）の関係（ここでは特に、名詞修飾）をつかむ、という二つの点から文章を整理して読む練習をしてみましょう。

例

昼夜を問わずにぎわう「けやき通り」には、サラリーマンが仕事の後の時間を楽しむカフェや若い女性たちが好きな小物店やブティックが並んでいる。

まず、読みやすい言葉のまとめをみつけて、／で区切ってみます。

昼夜を問わずにぎわう／「けやき通り」には、／サラリーマンが／仕事の後の時間を楽しむ／カフェや／若い女性たちが好きな／小物店やブティックが／並んでいる。

このように区切られたまとまりの中から、文の骨組みと、骨の各部分を修飾する語句を探します。骨組みの部分を□で囲むと下のようになります。

昼夜を問わずにぎわう／「けやき通り」には、／サラリーマンが／仕事の後の時間を楽しむ／□カフェや□若い女性たちが好きな／□小物店やブティックが／□並んでいる。

「けやき通り」には □カフェや □小物店やブティックが □並んでいる。

その他の部分は骨の各部分を修飾する語句だということがわかります。その部分に下線を引くと下のようになります。

昼夜を問わずにぎわう「けやき通り」には、サラリーマンが仕事の後の時間を楽しむ□カフェや若い女性たちが好きな□小物店やブティックが並んでいる。

名詞修飾では、いろいろな言葉が名詞を修飾しますが、ここでは特に**文（節）＋名詞**の
まとまりを探す練習をします。

基本練習

① の言葉（名詞・の）を修飾する部分に下線を引きなさい。

現在、世界中に広がっているお茶の起源は、中国です。中国のお茶といえば、日本ではウーロン茶やジャスミン茶がおなじみです。そのお茶の本場、中国では数多くのお茶が飲まれています。一番飲まれているのは、実は「緑茶」なのです。中国の緑茶の生産量はお茶全体の約7割を占め、その種類は2000種以上ともいわれています。まさに、緑茶の本場は中国。しかし、中国でこれほど多くの人々に飲まれている緑茶が、なぜかこれまで日本ではほとんど知られていませんでした。お茶を知りつくした中国で最も愛飲されている「中国緑茶」独特の香りと味わいを、みなさんに楽しんでもらいたい。それが、このたび中国茶館『南山』をオープンするきっかけとなったのです。

② の言葉を修飾する部分に下線を引きなさい。

私は産まない自由を選んだ。死に向かって生きなければならない人生を私の手でつくりだす気になれなかった。そこまで考えてはいないだろうが、高度成長期に生まれ育った20代～30代たちも、バブル^{ほうかくい}崩壊後、今生まれても幸せじゃないと漠然^{ぼくぜん}と思っている。彼ら自身が、親を大事にする「いい子」ではなく、経験を積んだ大人^{うと}を「グサイ」と疎んじてきたので、親になることがよいとも思えないのだろう。

ただ、かつての「子どもを産んで一人前」という価値観からは彼らは解放されている。家長という支配者と被支配者の家族関係は念頭にない。人生のルールは、1本に限らないと知っている。（略）

（大石静「識者に聞く」「朝日新聞」2002年6月14日付朝刊）

③ 被修飾語の名詞をで囲み、それを修飾する部分（文（節））に下線を引きなさい。

①世界中の本をこんなに次々に翻訳し、翻訳が文化の重要な一翼^{いちよく}になっている国は他にはないだろう。

②5月20日に予定されていた留学生会が主催する懇親会^{こんしんかい}は運営上の理由から本校の創立記念日に当たる18日に開催日が変更されました。

③古い友人から10年ぶりに母校のキャンパスを訪ねたというメールをもらった。

④利益をいかにあげるかだけで企業の価値が計られる時代はもう過去のものである。もうけのみを考えた経営をすればするほど、社内では労働者の健康の破壊^{はかい}やモラルの低下、社外では不正取引^{ばいしりゆう}や賠償請求などのリスクを生む恐れがある。それを回避^{かいひ}し、社会の信頼を得るためには危機管理が重要だ。ところが、日本では危機管理に多大な費用をかけるのは無駄だというコスト意識がまだまだ根強い。これからの企業には、この危機管理への意識を高めるだけでなく、実際の行動^{わく}枠の中に取り入れる姿勢が必要であろう。

④ 次の文章の中の、被修飾語の名詞を探して で囲み、それを修飾する部分（文（節））に下線を引きなさい。

6日から、土曜朝に週末新聞「be」をお届けします。ビジネスシーンを充実させる「bセクション」、くつろぎの時間を満喫^{まんきつ}させる「eセクション」。合わせて16ページの新しい別刷りです。

bセクションは、仕事に役立つインサイド記事と、お得情報^{まんさい}が満載^{しゅん}です。旬のビジネス人を取り上げる大型インタビュー、プロの視点からの経済、政治、国際情勢の分析や政治家からの政策提言、30、40代のためのリーダー養成講座、デジタル機器の簡単操作術など、読みごたえ十分です。

eセクションは、これまでの日曜版に代わるお楽しみ紙面です。衣食住の情報をカラフルな写真とともにお届けします。日曜版で好評をいただいた投稿欄「いわせてもらお」も掲載、パズル欄は大幅に拡充します。

（「朝日新聞」2002年4月5日付朝刊）

2. 文のつながり

ある主張を読者にわかってもらうために、筆者は文の運び方を考えながら書いているはずです。ですから、筆者の主張を正しく読み取るには、読む人も筆者といっしょに論理の展開をたどることが必要です。

論理の展開をとらえることは、文章の構成をとらえることです。つまり、文章を構成する各部分の内容を理解して、それがどのようにつながっているかを見るのです。どのようにつながっているかを見るには、文と文をつなげる言葉（特に**接続詞**）に注意を払うことが有効です。論理の進展や逆行は接続詞によって示されることが多いからです。

重要な働きをするつなぎ言葉

逆接A 前の文とは合わないことを 後の文で言う	しかし だが	・都内の公立学校は完全5日制になった。 しかし 、休みの日を子供たちがどう使っているのか、実態は明らかではない。 ・彼のレポートはよくまとまっている。 だが 、データが少し古いのではないだろうか。
	けれども	・この会のメンバーは、職業も年齢も国籍も趣味もばらばらだ。 けれども 、1点だけある共通点がある。
	ところが	・眠気を覚ますために紅茶を飲んだ。 ところが 、ますます眠くなってしまった。
	それどころか	・この病気について理解するためにいろいろ調べてみた。しかし情報が多種多様で理解は困難だった。いや、 それどころか 、かえって混乱してしまった。
逆接B 前の文を一応認めてから前の文と合わないことを言う	といっても	・インターネットの普及により、印刷物ではない形で情報が簡単に手に入る。 といっても 、紙に印刷してからでないと、読んでも頭に入らないという人もいるようだ。
	それにもかかわらず	・投票日は朝から雨天という悪条件だった。 それにもかかわらず 、投票率は67%と前回は大幅に上回った。
	だからといって	・この論文はよく書けている。データも信頼性があると思う。 だからといって 、私はこの人の意見に賛成しているわけではない。